

センター通信

たくさんの人に支えられている幸せ「150周年分の実感」



伊丹市立伊丹小学校

校長 磯田 かおり

「150年分の笑顔あふれるみんなの輪 いたみのWA!」は、伊丹小学校が今年創立150周年を迎えることを記念してPTAの方々を中心に考えてくださったキャッチフレーズです。創立150周年の話題で、自治協議会の方々や児童のご家族だけでなく、ことば蔵やFMいたみ等、いろんな所で出会う方々が、「自分も卒業生です。」と話してください、一気に心の距離が縮まるような喜びを何度も味わっています。中でも、「私も、『よい子 強い子 伊丹の子』なんです。」と言ってくださった卒業生のことばからは、伊丹小学校で学んできた誇りと、熱心に子どもたちに向き合ってきた当時の先生方や保護者、地域の方々の情熱が伝わってきました。本校の教育目標である「よい子 強い子 伊丹の子」は校庭の石碑にも刻まれており、「徳・知・体の調和のとれた心豊かなたくましい子の育成」を目指して取り組んできたその思いが、長年にわたり子どもたちの心に刻まれてきていることを確信しました。

コロナ禍において、活動の制限やマスクの着用、身体的距離の確保等、人とのふれあいが制限されたことで、「人とのつながりや、人を思いやる優しさ」の大切さに改めて気づかされました。そこで、今年はいくつかの制限や休止していた登下校の見守り、図書、園芸等のボランティアの方々の活動を活性化したり、オンラインが中心となっていた土曜学習を“集う活動”中心にしたりと、実際に出会ってことばを交わしコミュニケーションの機会を増やしています。子どもたちには、保護者や地域の多くの人たちに愛され支えられていることを知り、自分がとても大事な存在であることを実感してほしいと考えています。また、学校ではいろんな人にあいさつが気持ちよくできるようにと、今年生活委員会の児童だけでなく、教職員も毎朝下足場に立って「おはようございます。」と声をかけています。笑顔であいさつを交わす明るい声が、今まで以上に校舎に響くようになりました。通学路や校門周辺に立つ地域のボランティアの方や先生に、立ち止まってお辞儀をして礼儀正しくあいさつをする姿も多く見られ感心させられます。

150年分の歴史と伝統の中で培われてきた学校と保護者、地域の温かいつながりを一層大切にして、心豊かな「よい子 強い子 伊丹の子」の育成に努めたいと思います。

阪神地区青少年補導委員連絡協議会 ～ 青少年を守り育てる地域フォーラム ～

8月1日(月)、宝塚ソリオホールにおいて阪神地区青少年補導委員連絡協議会総会・研修会が開催され、本市の少年補導委員18名が参加しました。

「スマートフォンの光と影～大人の知らない実態～」の演題で、インターネット利用アドバイザー 山根喜代浩氏の講演がありました。山根氏の調査で、令和3年度インターネット利用について高校生が99.2%・中学生が98.2%・小学生が96.0%で、その内、スマホを1日3時間以上利用する小学生が52%・中学生が67%・高校生が78%との報告がありました。今やインターネットは大人だけでなく、子どもの生活においても切り離せない状況となっています。



山根氏はネット環境を持つことを我慢させられている子が遅れてスマホを持った場合に、トラブルに巻き込まれやすいと指摘しています。子どもに健全なインターネットを利用させるためには、親子でのルールづくり・ペアレンタルコントロールで利用時間を管理するだけでなく、ネットの危険性についても子どもと一緒に考え、取り組むことも重要とのことでした。

さらに、特に思春期の子どもは親との会話が減少するものの、悩みは多くて相談相手を探しています。親は相談されていると思っているけれど、実際は友だちやネット上の知り合いに相談することの方が多いという現状を受けとめ、子どもが話しかけてきたら、手を止め、聴く時間を持って「心のブレーキ・心の支え」となる親であり、大人でありたいものです。

8月29日(月)伊丹市・宝塚市・川西市合同で、補導活動を行いました。伊丹市からは、職員2名のほか、少年補導委員連合会会長、天神川・笹原・有岡各ブロックから1名が参加し、川西市役所を起点に3方向に分かれて補導活動を行いました。特に、問題となるような事象は見受けられませんでした。おそらく、こうした地道な補導活動やちょっとした声かけが子どもたちを見守り、子どもたちの問題行動への抑止力の一つになっていると言えるのではないのでしょうか。

非行防止ポスター

毎年、市内中学生から非行防止ポスターの原画を募集しています。

今年度は62作品の応募があり、その中から選ばれた荒牧中学校2年藤原 梨花さんの原画をもとに非行防止ポスターを作成しました。

市内量販店、公共施設や各小中高特別支援学校に配付し、掲示していただく予定です。

みんなでつもう 非行の芽



若者ゆうゆう広場

兵庫県青少年本部助成事業

「若者ゆうゆう広場」(自主運営)は「子どもの居場所づくり」を目的としています。伊丹市内では「ゆうゆうきらら」があります。

「ゆうゆうきらら」では平日など中学生・高校生が放課後や長期休みなどに自由にきららホールの施設で過ごせる場所を提供し、若者の自主的な活動を支援しています。

【実施日時】月、火、木、金、土 9:00～21:00
日、祝 9:00～17:00

【休館日】毎週水曜日、年末年始

【住所】伊丹市北野4-30

TEL: 072-770-9500

伊丹市立北部学習センター(きららホール)

【実施団体】NPO 法人まちづくりステーションきらめき

補導活動 (8月)	幼児 小学生	中学生	高校生 その他	大人
あいさつ	284	143	50	397
声かけ	157	55	62	120
遊びに関する	6	11	6	0
交通に関する	1	14	8	19
その他	0	3	1	0
相談活動(8月)				
電話相談	2件	(8月)有害図書回収状況		
来所相談	2件	有害図書	112冊	
メール相談	1件	有害AV等	397枚	

白ポスト設置場所

(市内15カ所)

- ・東塚公園・中野西公園
- ・裁判所前・いたみホール
- ・南センター・北センター
- ・阪急福野駅・阪急伊丹駅
- ・阪急新伊丹駅・JR伊丹駅1F
- ・JR北伊丹駅南口・山田バス停
- ・荒牧バス停・バラ公園バス停
- ・西条津バス停

子どもと保護者のためのなやみ相談窓口

<電話相談> ☎072-770-8742

月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く) 10:00～17:30

<来所相談>(要予約) ☎072-780-3540

月曜日～金曜日(年末年始・祝日を除く) 10:00～17:00

<メール相談> aigo@itami.ed.jp

または、当センターHPのメールフォームをご利用ください

<9月の主な行事>

- 7(水) 伊丹市少年補導委員連合会 役員会
- 7(水) 伊丹市少年補導委員連合会 定例理事会
- 9(金) 広報啓発活動
- 21(水) 県青少年補導センター連絡協議会 所長会
- 22(木) 川西市・伊丹市少年補導委員合同補導
- 26(月) 有害図書回収

- (随時) 街頭補導活動 (各小学校区)
- 中学校区内補導活動 (各中学校区)
- 電話・来所・メール相談 (愛護センター)
- (9月～11月) 第2回愛護補導連絡会 (各小学校)

*「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(TEL 072-780-3540)までお寄せください。